

平成30年度学校自己評価システムシート（県立八潮南高等学校）

目指す学校像	校訓「勉学 誠実 実行」の実践を通して、確かな学力と専門性を身に付け、地域社会に貢献できる人材を育成する学校
--------	--------------------------------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的生活習慣の確立、挨拶の励行、規範意識の醸成等を通じて、規律を守り、礼儀正しく、品格と思いやりのある生徒を育成する。 2 基礎基本の習得を徹底するとともに、主体的な学びを通じ、自らの考えを表現する力を育成する。 3 生徒の様々な活動を地域社会に積極的に情報発信することにより、「八潮南高校」ファンを増やす。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価					年度評価(平成31年1月9日現在)		
年 度 目 標					年度評価(平成31年1月9日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	学校全体で統一した生徒指導体制も整いつつあり、大多数の生徒の規範意識は向上している。しかし、毅然とした生徒指導は継続して行う必要がある。また、教育相談的なアプローチが必要な生徒もおり、一人ひとりに配慮した生徒指導が求められている。 自転車の交通ルールやマナーについては、自らの命を守る観点から生徒の意識を向上させ、交通事故件数を減らすことが課題である。学校行事や部活動に生徒が積極的に参加し、生徒が主体となり活動することができる場を設定したい。	基本的生活習慣の確立やあいさつの励行、規範意識の向上と共生社会への啓発 自転車の事故件数の減少 学校行事や部活動に積極的に参加する	<ol style="list-style-type: none"> ①遅刻・欠席を減らす指導 ②全教職員が挨拶の励行、規範意識の醸成等を促す ③通級指導のモデル校研究を生かして通常の授業でも一人ひとりを大切に指導を行う 	<ol style="list-style-type: none"> ①昨年より遅刻・欠席が減少したか ②生徒アンケートで挨拶を「よくしている」割合が昨年より上昇したか ③生徒指導件数が減少したか ④通級指導の体制をつくり上げることができたか。また、研修会を実施したか 	○基本的生活習慣はほぼ確立している ・皆勤全学年50%(2学期まで)昨年同率 ・よく挨拶している生徒、50%→52% ・生徒指導件数減少 ・通級指導では、校内普及のため小委員会や通級指導情報交換会を設定。9・1月に研修会を実施、通級の授業見学など通級指導に関する教員の意識は向上した ○自転車の事故件数は減少 ・交通事故件数8件、昨年(25件)より減少 ・交通安全講習会を9月の始業式に生徒による説明で実施。また、生徒に自転車マナーアンケートを実施、実態を把握し意識喚起を行った。交通安全委員会が自主的な活動として八潮駅前で啓発用のティッシュを配布し自転車のマナーアップを呼び掛けた ○学校行事に生徒が積極的に参加した ・7月、12月のスポーツ大会、10月翔陽祭は生徒主体で行事を運営した ・部活動加入率が9月現在86.5%で昨年同時期の81.3%を上回った	A	・長期欠席をする生徒が昨年より増えているので家庭との密な連絡やスクールカウンセラー等の外部の協力を継続して得ながら対応する必要がある ・通級指導については、教職員の理解と各自の授業等に生かせるようレベルアップしたい ・交通事故件数が減ったとしても自転車のマナーと自分の命を守る啓発を進めることが大切である。また、生徒のアンケートを継続的に実施し、自転車マナーの向上を高める必要がある
2	基礎学力向上や資格取得のための取組は行われているが、生徒の学習時間は増加していない。新しい学習コンテンツを導入しつつ基礎学力の確立と定着を進め、さらに学ぶ意欲の高い生徒の学力も向上させるために授業改善を続ける必要がある。	基礎基本の習得の実現 進路希望100%実現	<ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力テストの活用 ②自主学習時間の増加 ③学び直しを意識してわかる授業を展開する ④授業改善に向けた授業公開と研究 ⑤アクティブラーニング授業の実施 	<ol style="list-style-type: none"> ①基礎学力テストを有効活用したか ②生徒アンケートで自主学習時間が昨年より増えたか ③生徒アンケートで授業の内容がわかる割合が昨年より増えたか ④授業公開を2回以上実施 ⑤生徒が主体的に学ぶ場面を提供することができたか 	○基礎基本の習得の意識の向上 ・1年の基礎学力テストの回数を2回から3回に増やした。テスト活用のため、職員には研修会を11月に実施、生徒には7月・12月の2回講演会を行い意識を高めさせた ・家庭学習をほとんどしていない割合が昨年より減少し(59%→53%)学習時間が増加した。自主学習生徒アンケートを7月・12月に実施、自主学習に対する意識を向上させた ○進路希望ほぼ100%実現 ・進路希望は98%実現(12/28) ・新規企業を開拓し、その企業に内定 ・卒業生を招き進路希望者に個々対応	B	・基礎学力テストを活用するために事前教材を有効利用し、基礎学力の定着のために朝学習を効果的に利用する ・1・2年生の進学希望が増えているので、生徒の進路希望を叶えるために1年次からの学習指導を検討する必要がある
3	平成30年度入試で定員割れとなった。本校の教育活動のよさ、専門学科の特色などが外部に理解されているとは言えない。校外において本校生の活動機会を増やし、本校生の姿や教育活動の成果を目に見える形でアピールし、情報発信する必要がある。また、地域の保育園や小学校、中学校との交流事業を継続・連携強化しつつ、地域に根差した学校づくりを実現したい。	地域との連携強化と情報発信の工夫・改善 生徒募集活動の活性化を図り、入試倍率の全学科1.0倍以上の実現	<ol style="list-style-type: none"> ①小学校・中学校に本校教員が向うき学校概要説明・体験授業等を実施する ②市内外の各種事業に本校生を参加させ本校生の活動を紹介する ③専門学科の授業の成果を発表 	<ol style="list-style-type: none"> ①小学校・中学校の訪問回数 ②本校生が地域の事業に新たに参加したか ③専門学科の成果を発表できたか 	○地域との連携と情報発信は進めた ・保育園・小学校との交流を6・8月に実施、教員の出前授業13回実施(昨年比増) ・八潮市主催関連行事12事業に参加(課題研究の生徒参加、八潮駅前ボランティア活動、吹奏楽部による病院やTX祭りの演奏活動等) ・八潮市教育の日(11/6)で発表 ○生徒募集活動を活性化させた ・ホームページの更新回数118回で昨年の67回を超えたが、アクセス数は減少した ・学校説明会参加人数増加708人→749人 ・中学校訪問は、管理職の他に広報部が八潮・三郷・草加市の中学校に訪問、学校説明会等への案内をした	A	・市民授業公開、部活動によるボランティア活動や活動成果の発表等、八潮市主催行事に昨年度に比べ多く参加することができた さらに機会をつくって地域との連携を図り、本校の教育活動を示していきたい ・今年度、専門学科を紹介するPR紙を作成し、広報活動を進めた。さらに専門学科の特徴や良さを広めていく必要がある

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成31年1月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶などは人間形成に大事なことで、ぜひ継続してほしい。 ・人に見られていなくてもルールを守るという態度を育成してほしい。また、なぜルールを守るのかという指導もしてほしい。 ・青信号でも確認するなど、一歩踏み込んだ交通安全指導を行ってほしい。ただ叱るのではなく、自転車の乗り方は大丈夫だったのかという指導もしてほしい。 ・朝の挨拶運動などは生徒会のみではなく、ポジティブ部も参加してほしい。 ・生徒が主体的となり、もっと行動することで学校の評価につながる。生徒主体でどんどんやってほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標の設定を1、2年生から明確にできれば、学習する意欲がわくと思う。 ・資格取得のメリットをもう少しわかりやすく外部に広めてほしい。 ・進学希望が増えているとのことだが、ホームページなどで進学先の情報を詳しく知りたい。中学生の保護者からこういった意見が増えてきている。 ・4つの高校の授業を見学したが、八潮南高校生徒の授業態度が一番良かった。 ・八潮南の卒業生から話を聞く機会を増やしてみようか(身近な人に話を聞くと自分のこととして考えることができる)。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・八潮南の生徒と小中学生の交流が増えると八潮南高校の雰囲気がわかると思う。 ・中学校での出前授業が進路決定のきっかけになると思うので継続してほしい。 	